

1 三郷市の特徴

三郷市は、人口13万7千5百人、埼玉県の南東端に位置し、東京都千葉県と東京都心に近いことから人口が増加しています。また、近年では大型ショッピングセンターの商業施設が建ち並び、県内外からの多くの人で賑わっています。

2 三郷市少年消防クラブの活動

三郷市少年消防クラブは、平成23年4月1日「クラブ活動を通じて消防・防災について学習し、正しい知識と技術を修得し、生命(いのち)と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、規律や防火マナー等を身につける消防防災教育を行い、クラブ員を通じて家庭及び地域の防火・防災意識の高揚を図り、将来の地域防災の担い手となる人材育成を目的」に市内小学5・6年生、32名で発足しました。平成27年度は、小学5年生から高校1年生まで86名が在籍し、「時には厳しく、時には楽しく」消防・防災について学んで

います。

当クラブでは、年間行事に基づき活動を行っています。小学生クラブ員は基礎を学び、中学生クラブ員はリーダーシップを執り活動に励み、高校生クラブ員は応急手当普及員を取得し、準指導者として指導者とともに後輩クラブ員たちの指導に当たっています。

平成24年度からは、年間行事の他に有志クラブ員による軽可搬ポンプ操作法を取り入れ、三郷市消防団消防操法大会や市総合防災訓練などに軽可搬ポンプ操作法を披露しています。軽可搬ポンプ操作法に携わったクラブ員たちは後輩たちを積極的に指導し、手本となっています。

クラブ活動では、3日間をとおして消防防災について学ぶ、消防体験学習(3デイズ)が人気で、規律訓練から始まりロープ結索、軽可搬ポンプを使った放水体験など様々な体験学習を行っています。その中でも救助体験が特に人気で、降下訓練・渡過訓練では何度もチャレンジするクラブ員が多くいます。



軽可搬ポンプ操作法の披露



降下訓練にもチャレンジ



規律を指導する準指導員（高校生クラブ員）



市総合防災訓練にて搬送訓練

また、市の総合防災訓練では、自主防災組織の方々と協力し傷病者搬送訓練、水消火器を使用した初期消火訓練や水バケツリレーを一緒に行っています。今年には自主防災組織と一緒に消火器体験コーナーを担当し一緒に指導をしました。

3 活動が認められ

当クラブは発足してまだ5年目ですが、平成25年度に東京ドームで開催された「消防団120年・自治体消防65周年記念大会」で全国の少年消防クラブ員とともに放水訓練を披露し、平成26年度に開催された「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」では、活動報告及び軽可搬ポンプ操法を披露しました。これら日頃の活動が認められ、平成26年優良少年消防クラブ・指導者表彰において優良な少



ヨーロッパ青少年消防オリンピック派遣（開会式会場にて）

年消防クラブ（消防庁長官表賞）を受賞することが出来ました。平成27年度は「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」派遣チームに選ばれると共に、8月に開催された「少年消防クラブ全国交流会」消防競技において優勝することが出来ました。これらの活動に参加させていただき、クラブ員たちの消防・防災に対する意識の向上に繋がっています。

4 今後の展望

地域防災の担い手となる人材を育成するには、各団体や組織が一体になって取り組む必要があります。関係機関と協力してクラブ員を育成していき、三郷市少年消防クラブ員たちが近い将来、消防団や防災組織などに積極的に関わってくれることを願っています。



少年消防クラブ全国交流会で優勝